

時間統計論

時間統計論とは

- 時間統計論とは、過去の月足や週足などのローソク足の陰線や陽線を1月や1週目などの季節ごとに数えて傾向を見つけることです。

例えば、次のページでも紹介しますが、ドル/円の8月の月足の陽線と陰線の数で過去20年間数えてみると、陽線が5、陰線が15となっており、陰線のほうが多くなっています。

つまり、過去20年間の統計を取ると8月のドル/円は陰線が出る確率が75%だったということになります。

このような情報を参考にしてトレードを組み立てることもあります。

今回は、**月足の**時間統計論を説明していきます

クロス円月足の陽線と陰線数

ドル/円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	9	9	10	10	8	10	12	5	11	14	10	10
陰線数	11	11	10	10	12	10	8	15	9	6	9	9
ユーロ/円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	10	13	11	12	14	10	4	13	11	13	14
陰線数	10	10	7	9	8	6	10	16	7	9	6	5
ポンド/円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	9	13	15	9	14	10	5	14	13	11	9
陰線数	10	11	7	5	11	6	10	15	6	7	8	10
豪ドル/円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	12	12	8	11	8	12	11	4	11	14	14	11
陰線数	8	8	12	9	12	8	9	16	9	6	5	8
NZドル/円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	12	11	11	13	9	10	11	6	12	13	13	16
陰線数	8	9	9	7	11	10	9	14	8	7	6	3
カナダ/円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	11	12	13	10	11	9	6	10	11	10	9
陰線数	10	9	8	7	10	9	11	14	10	9	9	10
フラン/円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	12	11	11	13	12	8	8	10	12	13	13
陰線数	10	8	9	9	7	8	12	12	10	8	6	6

ドルストレートの月足の陽線と陰線の数

ユーロ/ドル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	8	10	11	11	7	12	9	10	11	10	11	12
陰線数	12	10	9	9	13	8	11	10	9	10	8	7
ポンド/ドル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	9	10	17	4	13	9	6	12	10	7	7
陰線数	10	11	10	3	16	7	11	14	8	10	12	12
豪ドル/ドル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	9	14	9	12	6	14	9	5	11	14	10	8
陰線数	11	6	11	8	14	6	11	15	9	6	9	11
NZドル/ドル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	10	10	12	7	13	11	7	12	11	10	13
陰線数	10	10	10	8	13	7	9	13	8	9	9	6
ドル/カナダ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	12	9	8	6	10	7	11	11	9	12	13	10
陰線数	8	11	12	14	10	13	9	9	11	8	6	9
ドル/フラン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	12	11	8	9	10	5	12	11	9	11	9	7
陰線数	8	9	12	11	10	15	8	9	11	9	10	12

クロス通貨の月足の陽線と陰線の数

ユーロ/ポンド	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	6	12	9	8	8	13	10	12	9	10	13	14
陰線数	14	8	11	12	12	7	10	8	11	10	6	5
ポンド/豪ドル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	8	9	10	9	10	9	11	14	9	7	9
陰線数	10	12	11	10	11	10	11	9	6	11	12	10
豪ドル/NZドル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	9	11	11	11	9	13	11	10	12	7	5
陰線数	10	11	9	7	9	11	7	9	10	8	12	14
ユーロ/豪ドル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	9	7	9	11	10	11	7	16	9	9	9	12
陰線数	11	14	11	9	10	9	13	4	11	11	10	7
ユーロ/フラン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	10	5	10	13	8	11	11	9	11	10	5	8
陰線数	10	15	10	7	12	9	9	11	9	10	14	11
ポンド/フラン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
陽線数	13	7	10	15	11	6	10	7	10	11	6	7
陰線数	7	13	10	5	9	14	10	13	10	9	13	12

時間統計論まとめ

- このように各通貨ペアの月足の陰線の数と陽線の数調べると季節ごとの傾向が見えてきます。

なぜこのような傾向が出てくるのかというと、企業の決算などの会社カレンダーが影響を及ぼしています。

例えば、年末に向けて円安に向かう理由は様々な理由がありますが、大きな理由としては、日本に進出している海外企業が本国の決算のために持っている日本円を売って自国の通貨に戻すからと言われています。

8月が円高になりやすい理由も、日本にはお盆があり、トレードを行っている日本企業がポジションを閉める。つまり、円に買い戻す動きがあるからと言われています。（その他様々な理由があります。）

時間統計論まとめ

- このように、その季節ごとの傾向をトレードに生かす方法もFXでは有効です。

しかし、注意してほしいのは、あくまで傾向であるということです。
どれだけ、その月の傾向が強くてもそれをひっくり返す事柄は起こりえますし、
あくまで統計だということです。

過去20年間で陽線が付いた確率が80%だったとしても、残り20%は陰線が付く確率があるということになります。

そこに注意しましょう。

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562